



変化・成長の大崎 誇りを胸に！

校長 白井 克昌

桜咲く希望あふれる入学式を 4 月 7 日に挙行し、新入生 279 名を迎えました。今一度、原点に帰り、大崎生としての誇りを胸に、目標の実現に向けて颯爽とスタートしましょう。

## 1 学校経営の方向性

今後とも、身だしなみ指導を徹底し、私学に負けない生活指導により規範意識を醸成することを軸に、基礎・基本を重視した分かりやすい学習指導、道徳心の育成と実践力の涵養、文化・スポーツ活動や学校行事の活性化を図ることが重要です。この基盤に立ち、特進クラスを牽引力とした学力向上・進学指導を展開し、進学実績の向上（出口）と入試成績を向上（入口）させて、大崎高校を変化・成長させていきます。

新学習指導要領への対応するために、アクティブ・ラーニングなど主体的・対話的で深い学びに向けた授業の改善に努めます。また、身だしなみ指導や朝 8 時 20 分校門通過指導に取り組み、生徒が落ち着いて学校生活を送れる環境づくりを推進します。さらに、1 学年で校歌コンクール、2 学年で応援歌コンクールを行い母校に愛着をもてるよう帰属意識を高めます。

本校の教職員一同は、生徒にとって最善の教育をしていける教職員として、都立高校で一番仲の良い教職員集団を目指して結束力を高めていきます。直接生徒を指導する教職員の結束力が弱ければ教育効果は生まれないと考えています。今後とも教職員間の結束力を高めて、生徒のためには労を厭わない「生徒第一」主義で様々な取り組みを進めてまいります。

## 2 平成 29 年度の主な取り組み

- ①特進クラスの設置による進学指導の強化
- ②文化・スポーツ等特別推薦（バスケットボール男子）実施
- ③基礎学力の強化、補習・講習で学力強化
- ④計画的・組織的なキャリア教育の実施
- ⑤学力向上推進計画の実現、朝学習の実施
- ⑥大学探求等による大学進学の実現
- ⑦読書活動の推進
- ⑧オーストラリア海外体験（語学研修）
- ⑨電子辞書活用、学習の仕方・学び方講演
- ⑩ビジネス手帳による自己管理能力の育成
- ⑪心と体の強化に向けた強歩遠足の実施
- ⑫日本の伝統文化を活用した礼作法（茶道）
- ⑬大学進学「土曜講習」「特進講座」の実施
- ⑭オリンピック・パラリンピック教育の推進



平成 29 年度入学式



ビジネス手帳説明会

《人工芝の新グラウンドへ》～グラウンド改修工事のお知らせ～

今年度中にグラウンドの老朽化に伴い改修工事を行います。人工芝の新しいグラウンドになりますので、約半年程度の工事になりますが御理解いただくようお願い申し上げます。

いよいよ新年度そして新学期がスタートしました。

新たな年度となり環境、気分も一新するこの時期、新たに目標を定め何かを始めるには、とても良い機会です。

新学期を始めるにあたって、是非すべての生徒が卒業後の進路を考えながら学校生活に取り組んでほしいと思います。大崎高校では3年間を、次のような方針で進路指導に取り組んでいます。1年生では自分の適性を理解し把握する。2年生では自分の適性に合った具体的な進路の方向性（大学、専門学校等への進学、就職）を決定する。そして3年生では各自の進路実現に向けた具体的な取り組み（希望する大学進学に向けた勉強等）を行っていくということです。

2年生、3年生のみなさん、これまでを振り返ってみてどうですか。自分の適性を理解し把握できましたか。そして進路の方向性を定めることができましたか。ひょっとすると、まだという生徒も多いのではないのでしょうか。卒業までは長いようであつという間です。進路の方向性をできるだけ早く定め、それに向かって自分がしなければならないことは何かをしっかりと把握してください。

入学したばかりの1年生は、卒業後の進路のことはまだまだ先のことと思うかもしれませんが、今後の高校生活を実りあるものにしていくためには、進路を意識した学校生活を送っていくことが大切です。

そして、そのためには目標を持つことです。例えば、〇〇大学を第一志望として勉強に取り組む。教科書をしっかりと理解し、ドリルや問題集で復習して基礎を身に付ける。英単語をいつまでにいくつ覚える。など、それぞれ自分自身にとっての目標を立てることで、目標なくして取り組みはできません。

目標を立てたあとは、強い意志と実行力で目標の達成に向かって取り組むだけです。1日は24時間と限られています。スマホなどに支配されて無駄に過ごすなど、自分自身に負けことなく有効に時間を使ってみましょう。

最後に、すべての教科の基礎は日々の授業です。基礎力をしっかりと身に付けるためにも授業をおろそかにせず大切にしましょう。そして目標を持って学校生活に取り組んでください。

平成29年度がスタートしました。「私学に負けない生活指導」をスローガンとし、生徒、教職員、保護者の皆様の協力により、大崎高校は大きな「変化」と「成長」を遂げてきました。今後、さらに「変化・成長」していくためには、生徒諸君一人一人に「変化・成長」が求められます。

本当に「変化」ということは、内面が変わるということです。もっと簡単に言えば、「考え方」が変わるということです。「誰かに言われたから」、「注意されたから」変わるのではなく、自分から物事の必要性やその本質、理由を考えて行動していくことが本当の意味での「変化」になります。

そして、「変化」することにより、さまざまなことが「成長」していきます。今までは、人から言われてから行動していたことが、自分で判断し、行動できるようになっていきます。必要だと考えれば、それまでの自分の行動を正すことができるようになります。困難なことや逃げ出したいことに対して、立ち向かえるようになります。難しく考えることはなく、また何がきっかけでも構いません。今までの自分を振り返り、これからの自分に何が必要かを考えましょう。考えた結果を、がんばって行動に移しましょう。この、「行動に移す」ことが重要なのです。考えただけでは、「変化」は起こりません。自分にできることからでいいのです、無理をすると続きません。ひとつでも行動に移すことができれば、それが自信につながり、次の「変化」に向けてのハードルが低くなります。少しの「変化」が少しの「成長」につながり、やがて大きな「変化・成長」へと動き出します。昨年1年間大崎高校で過ごして、生徒諸君にはまだまだ伸びる部分があると感じています。自らが「気づき」「行動する」ことが大切です。今年1年間、また大崎高校での3年間の生活で大きく「変化・成長」する自分を感じてほしいと願っています。

### 今回のテーマ

- 1 自主的な学習の重要性を認識する。→ あきらめない心を作る。
- 2 学習仲間をつくる。→ 支え合い、夢を実現させる。

4月になりました。新学期です。新たな学校、新たなクラスで、新たな出会いと新たな決意。気分一新、今日から勉強に励みましょう。初心貫徹です。

高校とは自分で学習をするところです。自分で日夜学習を続けながら、「自分は将来何がしたいのか」「自分の好きなことは何なのか」「自分の研究したい学問はなんだろう」など自分の進路を見つけ、その目標に向かって日々努力をしていく。それが高校生です。

小中学校の時、将来の夢は大きく広がっていました。しかし、いつの間にか、世間を知ったつもりになり、現実の厳しさを知ったつもりになり、自分の能力を知ってるつもりになり、夢を語らなくなっていないませんか？違います、自ら努力することをやめてしまうから、夢が夢のままになるのです。今この現実を変えられるのは、自分自身の「あきらめない心」しかありません。

さて、まずは受験についてふれます。

「受験するためには学校の勉強以外に、3年間で3000時間の勉強時間が必要不可欠です。」  
受験ではさまざまな基本的に必要な知識が有り、それらを暗記・理解するためには3000時間は必要だということ。具体的には1年生は毎日2時間、2年生は毎日3時間、3年生は毎日4時間自宅学習する必要があります。計算すると、 $2 \times 365 = 730$ 、 $3 \times 365 = 1095$ 、 $4 \times 365 = 1460$ 、合計3285となります。

「え～、そんなの無理」と思った人、それが、夢を夢として終わらせてしまう原因なのです。あなたの「あきらめない心」を再度呼び覚ましましょう。

次に自宅学習についてふれます。自宅学習はなかなか習慣とするのが難しく、かなり苦労します。なんども挑戦してくじけた人も多くいると思われます。

そのため具体的な提案を一つしたいと思います。それは「勉強仲間をつくる」ということ。得意な科目を教えてあげる仲間、苦手な科目を教えてもらう仲間、弱音を吐いてしまう心を励ましてくれる仲間、好敵手(ライバル)、これら仲間を支え合い、団体戦で大きな壁をこえる努力をします。

それが、高校時代です。

4月です。新学期です。今年こそ頑張ってみましょう。「あきらめない」「くじけない」「自分から変わろうと努力する」「強い自分になる」学習に対して、ポジティブに攻めの姿勢でのぞむ。そんな大崎高校生になってほしいと希望します。1年生、2年生、3年生、頑張ってください。



## 「朝の読書活動」

毎朝 10 分間実施します！

副校長 池田 茂樹

今年度も、朝の読書活動を 8 時 25 分～8 時 35 分の 10 分間実施しています。朝の 10 分間の読書活動で、知らないうちに、すごい力が付きますので、この 1 年間、しっかりと取り組んでみてください。

【言葉の獲得のためには、読書が一番の方法です。】

読書は、人間が人間足らしめる上で、最も基礎的・基本的な部分となります。読書をしない人間がいくら勉強をしたとしても、土台がないところに家は立たない。わたしたちは言葉を通して生きているのです。

【読書は、すべての学習の基本です。】

脳科学者の茂木健一郎氏も「いちばん脳が鍛えられるのは本を読んでいる時と言っています。アメリカでも電子書籍の売り上げが減り、紙の本へ読者が戻る傾向が見られると伝えています。紙の本には、電源がいらない。書き込んだり線を引いたり、簡単に自分用に改良できる。紙やインクの匂い、美しい装丁などと共に本の中身を記憶できる。

【読書によって、すべての教科の学力向上につながります。】

数学にしろ、科学にしろ、教科書に書いてある語彙が理解できなければ、その問題を解くこともできない。自身の学力向上のため、進路実現を可能にするためとの思いで、朝の読書活動に取り組んでください。

【一冊の本は、偉大な教師とめぐり合ったのと同じです。】

読書は「人間だけができる特権」であり、いかなる動物も読書はできない。自分の人生は 1 回きりだが、読書によって、何百、何千のほかの人生に触れることができるし、過去の歴史の賢者とも語り合いができる。ソクラテスやユゴーとも語り合うことができます。

【読書には、人生の花があり、川があり、道があり、旅があります。】

楽しみがあり、怒りがあり、大いなる感情の海があり、知性の船があり、夢があり、ドラマがあり、世界があるのです。そして、大事なことは、どんな「喜び」でも、それなりの練習や努力が必要です。読書もそれなりの努力、挑戦があつて初めて「喜び」がわかってくるのです。いったん、その喜びを知った人は強い。「本が友だち」になった人は強い。

【読書は「習慣づける」ことが大切です。】

読書が習慣になった人は、電車の中でも、寝る前でも、トイレの中でも読むものです。読書を続けている人とそうでない人の差は、1 年で、想像以上に開くものです。良い本との出会いは知識を深め、感性を高め、視野を広げ、そして世界を広げることにつながります。自分自身の夢を見つけ実現するために、朝の読書活動に取り組んでいきましょう。

